

授業科目	障がい児保育Ⅱ (CD クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21412J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP5-3			
担当教員	命婦 恭子							
授業概要	保育現場において、発達障害やその傾向をもった子どもたちへ適切な支援を行うことは重要な課題である。そのため、発達障害についての専門的な知識を学び、その特徴を理解したうえで子どもたちへの支援方法を計画するための授業を展開する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発症率の高い発達障害について、その特徴を理解し説明することができる。 2. 障がいの特徴に合わせた支援方法について記述することができる。 3. 保育現場でみられる発達障害児の問題や課題に対する対応方法を計画することができる。 4. 発達障害児への適切な対応方法を実践することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	30	0	40	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)		20	10		10		40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)			20		30	10	60	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自閉症スペクトラム、ADHD などの発達障害について、その特徴を理解し記述することができる。 2. それぞれの障がいの特徴に合わせた支援方法について、障がいごとに説明することができる。 3. 保育現場でみられる発達障害児の問題や課題に対する対応方法を複数計画し、よりその子に適した方法を選択することができる。 4. 発達障害児への適切な対応方法を身に着け実習やボランティアなどの現場で実践することができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 自閉症スペクトラムや ADHD などの発達障害のいずれかについて、その特徴を理解し説明することができる。 2. 発達障害児の特徴に合わせた支援方法について記述することができる。 3. 保育現場でみられる発達障害児の問題や課題に対する対応方法の意図を理解し、説明することができる。 4. 発達障害児への適切な対応方法をグループワークの中で実践することができる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	講義の進め方と発達障害の概論 発達障害の定義や診断について解説する	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
2	知的能力障害の特徴 知的能力障害の特徴と保育の実際について	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
3	知能検査・発達検査について 知能検査・発達検査について、事例を通して解説する	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
4	自閉症スペクトラム児の特徴 1 自閉症スペクトラム児の特徴を心の理論を中心に解説する	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
5	自閉症スペクトラム児の特徴 2 自閉症スペクトラム児の特徴を事例を用いて解説する	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
6	ADHD 児の特徴 ADHD 児の特徴と保育の実際について	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
7	応用行動分析を用いた支援 1 ペアレントトレーニングの考え方と強化について解説する	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
8	応用行動分析を用いた支援 2 望ましい行動を増やす支援についてトークンエコノミーシステムを中心に解説する	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
9	応用行動分析を用いた支援 3 望ましくない行動を減らす支援について、計画的無視の考え方とその実践について解説する	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
10	ダウン症児の特徴と支援 ダウン症児の特徴と支援時の留意点を解説する	講義	講義内容で不明な点を参考図書などで確認する	30
11	発達障害児への保育実践 1 発達障害児の発達的特徴を理解し、援助する教材を計画する	演習	参考図書などで調べる	30
12	発達障害児への保育実践 2 発達障害児の特徴に合わせた教材を作成する	演習	時間内にできなかった作業を進める	30
13	発達障害児への保育実践 3 発達障害児の発達的特徴を理解し、援助する遊びを計画する	グループワーク	グループのメンバーと相談する	30
14	発達障害児への保育実践 4 発達障害児の発達を援助する遊びを体験する	グループワーク	グループのメンバーと相談する	30
15	発達障害児への保育実践 5 発達障害児の発達を援助する遊びを体験する	グループワーク	グループのメンバーと相談する	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「障害児保育1」で障がい児への保育の理念や形態、基本的な保育方法について学んでおくことが望ましい。また、定型発達児への保育計画や教材作りなどについても学んでおくことが望ましい。			
テキスト	伊藤健次 2016 『新・障害のある子どもの保育』みらい(2018年度 障がい児保育 I と同じ)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	上野一彦 2010 ケース別発達障害のある子へのサポート事例集幼稚園・保育園編 ナツメ社 内山登紀夫 2009 こんなときどうする？発達障害のある子への支援幼稚園・保育園 ミネルヴァ書房 齊藤万比古 2008 発達障害とその周辺の問題 中山書店 東田直樹 2014 跳びはねる思考 イースト・プレス 岩井淳二 水野薫 酒井幸子 2011 幼稚園・保育所の先生のための障害児保育テキスト新訂版 教育出版 水田和江 増田貴人 2010 障害のある子どもの保育実践 学文社 二宮信一 2005 ココロとカラダほぐしあ			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	発達障害児への保育は、子どもたちをよく観察し、そのつまづきを丁寧に理解し、支援していくことです。その方法を身に着けることで、一般の保育技術の上達につながります。			
達成度評価に関するコメント	専門的な知識を身に着けるだけでなく、保育現場で子どもたちへ適切な支援を行うために柔軟な思考が求められます。 小テスト20%、レポート30%、レポート外の提出物40%、その他(授業での積極的な発言や参加態度)10%で評価します。			